

重症心身障害児(者)病棟に入所されている患者さんのご家族、ならびに後見人の方へ

福岡東医療センター 看護部では以下の研究を実施しています。

この研究は、過去の診療情報を振り返り解析する「後ろ向き観察研究」と呼ばれる学術活動です。過去に実施された検査の結果等の診療情報等を利用しますので、患者さんに新たにご負担いただく検査や治療はありません。また、学会で公表する場合も、個人情報の保護には十分配慮し、第三者には誰のものか一切わからないようにします。患者さんにはご自身の診療情報が使用されることを拒否する権利があります。本研究の対象に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に使用されることを希望されない場合は下記の問い合わせ先にご連絡ください。既に学会発表が行われている場合はデータを削除できない場合がありますのでご了承ください。なお、研究協力を拒否された場合でも、患者さんが診療上で不利益を被ることはありません。

【研究課題名】	当院の重症心身障害児(者)病棟における褥瘡予防対策の課題
【研究実施期間】	倫理委員会承認日～2026年3月31日
【研究実施機関・研究責任者】	独立行政法人国立病院機構 福岡東医療センター 研究責任者 看護部 梶原 奈々子
【対象となる方】	西暦2020年4月1日から2025年3月31日の期間に当院の重症心身障害児(者)病棟に入所された方、125名
【研究の意義、目的、方法】	当院に入院している重症心身障害児(者)の多くは、体を動かすことが難しく、皮膚が弱くなっているため、寝たきりの状態が続くと「褥瘡(床ずれ)」ができやすくなります。特に、病気が進んだり年齢を重ねたりすることで体の機能が低下し、他の病気も加わることで、さらに褥瘡ができる可能性は高くなります。そこで、実際に褥瘡ができた事例をもとに、事前にどんな予防がされていたかを調べ、うまくいかなかった原因や改善すべき点を明らかにして、今後のケアに活かしたいと考えました。
【利用する情報の種類】	褥瘡リスク評価の結果、褥瘡の有無、褥瘡発生前に実施していた予防ケア、褥瘡発生時の患者の状況(状態変化の有無)
【個人情報の保護】	研究に際して、生年月日、カルテ番号、住所、氏名などの個人が特定できる情報は収集しません。また、研究の結果を公表する際も個人が特定できないよう配慮いたします。
【問い合わせ先】	独立行政法人 国立病院機構 福岡東医療センター 研究責任者：看護部 梶原 奈々子 住所：〒811-3195 福岡県古賀市千鳥 1-1-1 電話番号：092-943-2331 (代表)